

2020年

25日からも、もちろん「児童預かり」はあります。、臨時登校日も利用する人は、11時に終わったらそのまま体育館にいくように保護者からちゃんと子どもさんに指導しておいてください。特に預かりの1年生は、みんなと一緒に帰らないようにね。6月1日からは「児童育成クラブ」が開級します。



大江の風



5月22日
No.32

最初が肝心『新しい学校生活様式』の確立

いよいよ来週は、臨時登校日です。Aグループ（1～5・7町内）は火曜日と木曜日、Bグループ（6・8～16町内・校区外）は水曜日と金曜日という分散登校です。

子どもたちが半数ではありますが、いっぺんに来るのは久しぶりです。迎える側としては、学校でできるコロナ感染防止をしっかりと考え、準備をしているところです。まだまだ気を緩めてはいけません。「新しい生活様式」を学校バージョンにした「新しい学校生活様式・大江小版」を確立していきます。6月1日学校再開しましたら、それを子どもたちが「コロナ禍では当たり前」として納得し、主体的に実践できるように指導していきたいと思います。

さて、来週の臨時登校日も、一番ミニの集団、つまりクラス単位（約半数の人数）で学びます。他の学年や他のクラスとの交流はありません。クラスでの机の位置も、できるだけ広くとってぼつぼつと座らせ、対面をさけるような座席配置にしています。トイレで待つ時も、手洗いを待つ時も、子ども同士がくっつかないように、足型とテープで待つ位置を示しました。これはもう実生活で、スーパー等の買い物で経験済みですよ。きっと上手に並んでくれると思っています。「今までの学校での生活様式とは違うんだ」「コロナが終息するまでみんなで気を付けて生活するんだ。それがみんなの幸せに繋がるんだ」という意識を、子どもたちに持たせたいと思います。最初が肝心！臨時登校日から実践します。

3年生の手洗い場はATM方式。一列に並んでいて、蛇口が空いたらそこへ入るというやり方です。



ひまわり組は自分の色のテープが付いている場所に並び、使う蛇口が決まっています。



前後左右、できるだけ間をあけています。当面の間は、対面・密接の状態を話合いをしないようにします。

職員全員分フェイスシールドを購入しました。英語や国語は口形を見せたいし、一番は先生方の笑顔を届けたい。



トイレも間隔をおいて並べるように印をつけました。本校はトイレの数が少ないので、授業中でも行けるように柔軟に対応していきます。

今日で遠隔授業終了

4月15日から始まった遠隔授業が、今日で終わりました。教師も児童も初めての経験。でもこの1か月で、どんどん授業が変化していき、びっくりするほど授業内容が充実していきましたね。授業づくりに励んだ先生たちもすごい！そして意欲的に参加し学んだ子どもたちもすごい！支えてくださったお家の方々もすごい！みんなの力で大江小の「遠隔授業」の形ができました。ありがとうございました。学習内容を進めることも大事ですが、教師と子ども、子ども同士のつながりを大切にしようと考えました。「自己紹介ページ」や「〇〇の部屋」のような全員の共有ページを作成しているところもあり、各クラスの工夫も見られました。得意のピアノを弾いている動画を送ってくれた人もいましたよ。「アラバスク」とても上手でした。料理が上手になった人もたくさんいましたね。離れていてもクラスは仲良くなりました。



専科の先生方も遠隔授業をがんばってくれました。6年生に坂下先生が音楽の授業。なんとみんなで新曲を歌いました。綺麗な声が聞こえてきました。